

平成20年

4月

2008年4月号 (第43号)

三鷹市市民協働センターは市民活動を応援し、民学産公の協働によるまちづくりを推進する施設です。

■市民活動支援講座



プロに教わる
～伝える写真の撮り方～



主催：三鷹市・kazufoto橋本写真事務所

講師：橋本和典さん(プロカメラマン)



1963年東京生まれ。コニカ退社後、モルディブやガーナで写真講師として勤務。その後フリーランスカメラマンとなり風景撮影、熱帯諸国での人物撮影、野外親子撮影などを行っている。ミュージシャン石井竜也やAIハの作品提供も。

kazufoto橋本写真事務所
(http://www.kazufoto.com/)

The photographing seminar.

市民活動のチラシやニュースレターのために、プロのカメラマンから「伝える写真の撮り方」の基礎やコツを学ぶ講座です。カメラアングル、表情の捉え方、シャッタータイミング、逆光の場合など、伝える写真の撮り方の基礎とコツなど、講師の作品や参加者の撮影写真を教材に解説します。

2008年

4月24日(木)午後7時～9時

☆参加費：2,000円(当日お支払い下さい)

☆定員：20人(先着順)

☆対象：市民活動の実践者、はじめようとしている方

☆持ち物：デジタルカメラまたはフィルムカメラ(フィルムは抜いてください)

☆お申し込み・お問合せ 三鷹市市民協働センターへ

☆事前課題：

講師に講評してほしい写真を4月21日(月)までに協働センターへメールまたは郵送でお送り下さい。*必須ではありませんが、講評を受けられますので是非提出してください。

■デジタルカメラの場合はデータ、フィルムカメラの場合は紙焼き写真(サービスサイズでもOK) ■被写体は自由(人物取材、活動紹介など取材撮影を想定した内容に) ■100字程度の文章(被写体を説明)を写真に添えて提出

お客様の声により、
購入しました！

ソーター

面倒な丁合作業はお任せ！



10ページの資料60セットが
わずか一分で
完成！
無料でお使い
いただけます。

4月29日(火・祝)は開館します

(4月30日(水)は休館しますのでご注意ください。)
*通常火曜日が休館日ですが、祝日と重なった場合
開館し直近の平日を休館します。



<1ページ>市民活動支援講座『プロに教わる～伝える写真の撮り方～』、ソーターを導入しました <2ページ>市民活動紹介『みんなのみたか』、『NPO 法人鷹ロコ・ネットワーク大楽』 <3ページ>開催報告：なんでNPO法人にするの？ <4ページ>みたかボランティアセンターとの懇談会を開催しました、コーチング入門講座、インターネット・ブログ入門講座開催しました、4月イベント・セミナー情報、パブリックコメント情報、展示案内、お客様の声



市民活動団体紹介！

3月12日に開催した『トークサロン』で活動発表していただいた2団体を紹介します。

みんなのみたか

子どもたちのために何かをしたい

シニア世代の知識や経験を活かし、子どもたちのためにできることをはじめようと、昨年5月に発足。詩吟、読み聞かせ、竹とんぼづくり、乗馬体験、経営コンサルティングなど様々な知識と経験を持つ会員20人が、三鷹市の小中学校などで活躍中。

「生きざま」を話せば、必ず子どもたちに伝わる

代表の田畑さんがキャリア教育の一環で中学生に仕事の経験を話したきのこと、子どもたちの反応がつかめず不安だったが、生徒たちの感想文「人のためになる仕事をしたいと思った」「どんな仕事でも何十年続けていけばやりがいが出てくるのだとわかった」をみて自分の生きざまを一生懸命話すと、ちゃんと伝わるのだと実感した。

シニアと子どもの交流が活発になれば、まちは活性化する

今後は小学校の総合的学習や通常の授業のサポート、読み聞かせなどにも参加し交流の輪を広げること、会員数を増やすことを目指している。「常に子どものためにを念頭において活動してきました。地域で暮らすシニアと子どもの交流が活発になれば街は活性化します。足元を固めながら2010年NPO法人化・会員100名を目指し活動していきたい。」

■連絡先

Eメール:kura@mvb.biglove.ne.jp (倉林氏)
*お電話での問合せは三鷹市市民協働センターへ



田畑 洋さん

みんなのみたか代表
3年前に三鷹市に移住。
一昨年6月に定年を迎え、三鷹市を終の棲家と決め、経営コンサルタントの会社立ち上げと市民活動を開始。現在15の団体に参加。「地域デビューのステップとして、一に広報を読む、二に参加する、三に活動する」と話す。

NPO法人鷹ロコ・ネットワーク大楽

ベンチャーカレッジ参加者が設立

三鷹ネットワーク大学で開催された「SOHOベンチャーカレッジ」に参加した仲間が立ち上げた『NPO法人鷹ロコ・ネットワーク大楽』。楽しいアイデアとエネルギーに溢れる10人の女性たちが運営。鷹は三鷹、ロコはハワイで地元民を意味し、地域と三鷹、シニアと地域など様々な人とのつながりを楽しもう！と活動している。

『華麗に加齢』できる社会を

会のテーマは『華麗に加齢』。地域に戻ってきたシニアや団塊世代が地元で生き生き生活できる社会を目指している。カードマジシャン養成講座では、「孫にマジックを見せたい」、「宴会で人気者になれる」と大人気。簡単なものからちょっと高度なマジックまで格安で提供している。

『ユーモアスピーチの会』は、面白い話、失敗談などの笑い話を3分間スピーチする三鷹しゃべり場。若者とシニアが世代を超えた交流ができる貴重な機会だ。また、昨年9月三鷹産業プラザで開催したNPOの披露パーティーでは、ふるさとを応援する事業の一環として、伊藤さんの出身地である大分のかぼすや焼酎などをPR。100人の参加者が集まった。楽しく、生きがいが生み出される事業を提供している新進気鋭の団体。

■連絡先

ホームページ→<http://takaloco.jp>
*お電話での問合せは三鷹市市民協働センターへ



伊藤 彩子さん

NPO法人鷹ロコ・ネットワーク大楽 理事長
大分県出身、大学進学で上京、三鷹市在住。
「三鷹は以前から市民協働が盛んだと聞いていた。それを体感してみたい」とネットワーク大学の講座に参加。そこで仲間と出会う。

なんで NPO 法人 にするの？

開催しました



1998年に産声を上げたNPO法から10年、NPO法人の数は全国で3万3千。最近
はNPO法人の活動休止や解散が相次いでいる。法人格を取得するとは具体的に
にどうということなのか、福島達也さんに聞きました。

■ 3月8日(日)
■ 参加者24人

●安易な法人格の取得は厳禁！法人格は手段であって目的ではない

法人格を取得した後も毎年、事業報告書、財産目録、収支計算書など少なくとも6種類
の書類を所轄庁に提出しなくてはならないし、課税対象にもなる。

「NPO法人は設立してからが大変。法人格を取得していない任意団体でも活動はでき
るので、なぜ法人格が必要なのか、取得することでミッション達成のための活動が促進さ
れるのかよく考えて。」



福島達也さん
特定非営利活動法人
国際ボランティア事業
団 理事長
これまで1,000団体を
超えるNPO法人設立に
関わってきた。

国際ボランティア事業団
NPO 設立支援の講座
や、全国のNPO 関連の
ニュースをまとめた「NPO
スクエア」を発行。NPOの
中間支援団体。
TEL.03-5339-6706
<http://www.iva.jp/>

こういう団体は法人取得を検討しては？

- 個人の責任を超える事業を行うとき
- 人を雇うとき
- 法人格を持った団体でないと事業を受託できないとき



●NPO法人でも稼いでいい！

収入を得ても、スタッフに給料を支払っても問題はない。
では会社とどう違うかという点、『余ったお金を分配してはいけ
ない』という点。株式会社だと株主への配当や、ボーナスと
して社員に分配するが、NPO法人は次の事業に充てることが決
められている。

●会社とNPOの違いは、お金が志か。

介護タクシーのサービスなどで、会社が提供している場合とNPOが提供している場合が
ある。会社は損益分岐で考えるので儲からない事業はやらないが、NPOは困った人がい
るから、実現したい社会があるから、というミッション(志)で判断するので、儲からない事
業でもやることがある。たとえサービス料金に違いがなくても理念がまったく違う。

福島達也さんによる

NPOの未来大胆予測!!

NPO を取り巻く
環境が大きく変わるう
として。各方面か
らの追い風を読む。



□税制の追い風

アメリカではNPO 法人にお金を寄
付すると、所得税控除が受けられるた
め、個人からの寄付が活発。日本に寄
付が根付くにはこの制度が不可欠と言
われてきたが、ついに一部の財団・社
団にこの仕組みが適応される。今年
の12月に公益法人改革がスタート。今
回は一部の財団・社団だけだが、NPO
法人にも適用される日はそう遠くない？

□企業からの追い風

いまや投資家の判断材料のひとつ
としてCSR(企業の社会的責任)の取
り組みが重要視され、学生の就職活
動の現場でもボランティア活動の経
験が評価される時代に。ボラン
ティアの受け入れや企業との連携
を積極的に進めようとするNPO
は大きく羽ばたくのでは。

□行政からの追い風

公共サービス改革法の設立や指定
管理者制度により、行政サービスに
参入する仕組みができた。「市民
参加」「協働」は行政のキーワード
になり、NPO を積極的に受け入れ
る姿勢に。行政と協働するチャン
スが到来！

開催報告

みたかボランティアセンターとの懇談会を開催

2月29日、みたかボランティアセンターのボランティア活動推進協議会と、協働センター企画運営委員会の交流会を開催。両センターの紹介や質問などをグループに分かれて行い、交流を図った。(参加者25人、20団体)



開催報告

Coaching and Internet seminar was held.

コーチング入門講座

主催:コミュニケーション・ファーム、三鷹市
講師:高野まゆみ

【こどもの自立心を育むコーチング&仲間づくり】
■2月15・22・29日の3日間 ■参加者13人
【コミュニケーション力を高めよう!】
■2月20・27・3月5日の3日間 ■参加者7人

◇参加者の声◇

「子どもをコントロールする方法をコーチングだと思っていた。自分の意識を変えることでできる方法がわかった」「少しの実践で子どもの変化を感じられた」「目からウロコ!」「傾聴という言葉の意味を身体で感じとれたのがよかった」「ロールプレイすることで実感することができた」

インターネット・ブログ入門講座

主催:NPO法人子育てコンビニ、三鷹市
講師:NPO法人子育てコンビニ

【はじめてのインターネット講座】
■2月21日 ■参加者8人
【はじめてのブログ講座】
■3月5・6日 ■参加者9人

◇参加者の声◇

「インターネットが広がり、パソコンを開くので楽しみになりました」「お得サイトを教えてもらい、これから活用できそう」「自分のブログができて感激です」「インストラクターの方がマンツーマンに近い形でついで下さってわかりやすかったです」



Information about Public Comment.

パブコメ

★パブリックコメント情報★



「三鷹子ども憲章(素案)」

子どもたちが未来に向けて希望を持ち健やかに成長してゆくための、子どもと大人の共通目標としてこの憲章の制定を目指しています。この素案は小中学生との直接対話の機会を設けるなど、検討を重ねて生まれました。

- 期限:4月11日(金)まで
- 担当課:お問合せ:三鷹市企画経営室 0422-45-1151 内線2150
- 提出先:郵便 〒181-8555(住所記載不要)
Eメール kikaku@city.mitaka.tokyo.jp
FAX 0422-48-1419

- *本憲章(素案)をご覧いただくには・・・
- ダウンロードする:三鷹市ホームページ(三鷹市トップ(<http://www.city.mitaka.tokyo.jp>))
→パブリックコメント)
- 資料を手に入れる:協働センター内、『パブリックコメントコーナー』にて配布

■町会自治会へ ニュースレターを配布させていただきます

協働センターニュースレターは町会自治会など地域自治組織に無料で配布させていただきます。組織単位でご連絡いただければお届けさせていただきます。町会自治会の皆様、ぜひご検討下さい。

Editor's note.

編集後記:今号で私のニュースレター制作は最後になりました。思いかえせば台風の中での取材が私の初仕事でした。慣れない取材と記事おこし、編集で毎月もがき苦しみました(笑)。たった4ページでも伝えたいことを形にすることは大変だとわかったこと、取材を通していろんな方の想いを聞くことができたこと、ニュースレターを通して読み手とのコミュニケーションをしているのだと気付いたこと、私はこのA3一枚に多くのことを学ばせてもらいました。読んで下さった皆様、ありがとうございます。これからもニュースレターをよろしく願います。(ま)

Apr.

4月



*市民活動団体等が協働センターで行うイベント情報

Events.
協働センター
イベント・
セミナー情報

◆コーチングミニミニ講座「コーチング・スキルその3」

12日(土) 午後2時~4時 毎月開催(参加費:500円)

基本的なコーチング・スキルをひとつずつ取り上げていきます。初参加歓迎

◇主催・講師:ジョイフル・コーチング・クラブ代表 立石功氏(登録団体)

◇申し込み:不要(直接会場へ)

◇問合せ:Eメール joyfull.coaching.club@mbr.nifty.com

◆「外環道路、今どうなってるの」

13日(日) 午後2時~4時(参加費無料)

外環問題の経緯・現状・問題点の全てがわかる!

◇主催:市民外環連絡会・三鷹(登録団体)

◇申し込み:不要(直接会場へ)

◇問合せ:電話 0422-47-9978(寺子屋)

:Eメール piyo329-toyoda@aa.bb-east.ne.jp

◆ニアス島(インドネシア)スタディーツアー説明会

20日(日) 午後1時~4時(参加費無料)

スマトラ沖地震津波被害者支援から始まった交流。手づくり企画のスタディーツアーの説明会&研究会

◇主催:MISHOPスタディーツアーの会(登録団体)

◇申し込み:不要(直接会場へ)

◇問合せ:電話 0422-42-9182(odaka)

ホームページ:<http://studytour0.exblog.jp/>

◆ワンコイン・サロン(参加費:500円)

24日(木) 午後7時~9時

市民が出会う場。誰でも、1人でも参加可。フリーな話を楽しんでいきます。

◇主催:ファースト・ステップみたか(登録団体)

◇申し込み:不要(直接会場へ)

◇問合せ:Eメール mx04013@nifty.com(本山)

展示案内 Exhibitions.

「sora作品展」 主催:sora

■開催期間:4月5日午後2時~12日午後2時まで

「甲州道中平成延絵図」

主催:歴史の道を歩く会

■開催期間:4月25日~5月29日まで

「お客様の声」

いつもご意見ありがとうございます。

- 本の貸出を2冊から4冊に拡大しました
- 2階の給湯室の流しをリニューアルしました
- 館外周りに防犯ライトを設置しました

詳細是三鷹市市民協働センターへ

発行日:平成20年4月1日

発行:三鷹市市民協働センター(三鷹市生活環境部コミュニティ文化室)

〒181-0013 東京都三鷹市下連雀4-17-23

TEL 0422-46-0048 FAX 0422-46-0148

Eメール:kyoudou@collabo-mitaka.jp

ホームページ:<http://www.collabo-mitaka.jp>

開館時間:9:00am-9:30pm

受付時間:9:00am-9:00pm

休館日:火曜日(祝祭日は開館し、直近の平日を休館とします。)